

協働パイロット事業 (H23) 企画提案書

団体名：NPO 法人しずおかNPO 協働ネットワークセンター

1. 事業の名称

「さあ、はじめよう！戦略的ファンドレイジング」

2. 事業方針 (市民ニーズや協働で取り組む意義を踏まえてください)

2011年3月31日現在のNPO法人の認証数は全国で42,387団体、静岡県で968団体、静岡市で272団体(2・27)に達している。順調に発展しているのを見るのが妥当かも知れませんが、NPOの識者が指摘している通り、運営資金を如何に確保するかが大きな課題です。その解決の一つの方法としてファンドレイジング(資金調達・資金開拓)に挑戦する決意です。

ファンドレイジング(資金調達・資金開拓)と言う言葉自体、市民の方々にとっても、NPO関係の人々にとっても、馴染の薄い表現だと思いますが、それを敢えて「さあ、はじめよう！戦略的ファンドレイジング」と題したのは、行政、企業、市民、NPOの皆様との協働の展開、実践に「戦略的ファンドレイジング」の基本的考え方が必要不可欠だからです。

「戦略的ファンドレイジング」の根幹は、行政、企業、市民の皆様方にNPO、市民活動を理解して頂くようにコミュニケーションを積み重ね、お互いが成長すると言う、対話による「新しい公共」の実現だと思えます。即ち、「戦略的ファンドレイジング」は、「日本には寄付文化がない」など諦めないで、NPO、市民活動の使命、目的、事業を理解して貰う事が、お金が集まらなくても社会を変革する大切な方法です。

従って本事業は、人材育成を通して、「新しい公共」を実現する社会変革です。

3. 協働にあたって提案団体が果たす役割及び行政に望むこと

「戦略的ファンドレイジング」の本事業を企画提案することが行政への協働だと思います。それが「しずおかNPO協働ネットワークセンターの中間支援組織としての役割です。

この「事業計画」⑤の研修会3回は当NPO法人のスタッフと市民生活課の方々の協力をお願いし、研修会の内容をより充実するように協働して頂きたい。従って事前の討議・打合せ、当日の役割にも参加願いたいと思います。

4. 成果目標 (できる限り具体的に表現してください)

「戦略的ファンドレイジング」の基本を体得し、所属するNPO・市民活動団体の「戦略的ファンドレイジング」ができるように人間に対する理解とコミュニケーションスキルも体得し実践できる人材育成を目標にする。静岡市に最低10人位の「戦略的ファンドレイザー」を誕生させたい。それには、当スケジュールの期間のみでなく、しずおかNPO協働ネットワークセンターの中間支援組織としての使命の遂行の決意に燃え、参加希望者と共に学び、研修して頂き、本格的ファンドレイザーの誕生を目標にする。さらに、当NPO法人及び「しずおかNPO協働連携会議」において、静岡市の他のNPO法人の支援をして貰う。

5. 事業計画

- ① 事業名：「さあ、はじめよう！戦略的ファンドレイジング」
「戦略的ファンドレイジング」の基本的考え方、
- ② 参加者：NPO、市民活動団体の幹部、及び「ファンドレイジング」に関心のある人
- ③ 講演会：演題「さあ、はじめよう！戦略的ファンドレイジング」講師—鵜尾雅隆氏—9月
- ④ 実務講座：「戦略的ファンドレイジング」講師—徳永洋子
- ⑤ 研修会：「ファンドレイジングが社会を変える」講師・ファシリテーター—近藤勇
研修会：「ファンドレイジングが社会を変える」講師・ファシリテーター—宮田量子
研修会：「ファンドレイジングが社会を変える」講師・ファシリテーター—齋藤佳代
- ⑥開催場所：静岡市番町市民活動センター 2階 大会議室

6. スケジュール

- 平成 23 年 6 月～8 月
日本ファンドレイジング協会との打合せ
- 平成 23 年 9 月：
第一回講演会—講演者；鵜尾雅隆氏
「さあ、はじめよう！戦略的ファンドレイジング」
- 平成 23 年 10 月：
第二回実務研修会—講師；徳永洋子氏
「戦略的ファンドレイジング」
- 平成 23 年 11 月：
第三回研修会—講師・ファシリテーター；近藤勇
「戦略的ファンドレイジング」—テキスト「ファンドレイジングが社会を変える」鵜尾雅隆著
- 平成 23 年 12 月：
第四回研修会—講師・ファシリテーター；宮田量子
「戦略的ファンドレイジング」—テキスト「ファンドレイジングが社会を変える」鵜尾雅隆著
- 平成 24 年 1 月：
第五回研修会—講師・ファシリテーター；齋藤佳代
「戦略的ファンドレイジング」—テキスト「ファンドレイジングが社会を変える」鵜尾雅隆著
- 平成 24 年 2 月
報告書作成

7. 実施体制および主要スタッフの経歴

●事業計画・実施管理責任者：近藤勇

講演者：鶴尾 雅隆 氏

日本ファンドレイジング協会の常務理事、事務局長。

株式会社ファンドレックス代表取締役 02005 年以降、ファンドレイジングの考え方や事例、ノウハウについて発行するブログ「ファンドレイジング道場」主催。2008 年から、メールマガジン「ファンドレイジング道場 黒帯への道」<<http://www.fundrex.jp/info/magazine.html>>発行。2004 年、アメリカのケース大学にて非営利組織管理修士取。同年、インディアナ大学でファンドレイジングスクールを修了。現在、講演や全国各地での研修、NPO 向けの個別のファンドレイジング改善や戦略策定のコンサルティングなどを行っている。08 年まで JICA（国際協力機構）勤務。世田谷まちづくりファンド運営委員ほか。

講師：徳永洋子

日本ファンドレイジング協会 事務局次長

東京都出身。聖心女子大学卒業後、三菱商事に勤務。1998 年から日本フィランソロピー協会にて視覚障害者向け録音図書ネット配信事業に従事。2000 年よりシーズ・市民活動を支える制度をつくる会、おもに NPO のファンドレイジング力向上事業に従事。そのプロジェクトの一環として、日本ファンドレイジング協会設立準備を担当。09 年 2 月、同協会設立と同時に同協会事務局次長となる。

講師・ファシリテーター：近藤 勇

しずおか NPO 協働ネットワークセンター 代表理事、しずおか NPO 協働連携会議発起人 FJI の一員として平成 15 年 10 月より平成 22 年 3 月まで、6 年半、ふじのくに NPO 活動センター（呉服町、5 風来館）にて静岡県 NPO 法人設立アドバイザーとして約 150 団体以上の NPO 法人設立の相談に対応。平成 22 年 4 月に「しずおか NPO 協働ネットワークセンター」を設立。中間支援専門の活動分野の新しい公共支援事業を目指

講師・ファシリテーター：宮田量子

しずおか NPO 協働ネットワークセンター 副代表理事

静岡県人権・地域改善推進会事務局長。社会福祉士。精神保健福祉士。

講師・ファシリテーター：齋藤佳代

しずおか NPO 協働ネットワークセンター正会員、しずおか NPO 協働連携会議発起人 上智大学法学部卒、ジョンスボブキンズ大学院（イタリア）卒後、NPO 静岡塾代表

8. 特にアピールしたいこと（専門性、独自性、先駆性、実績など）

- 1、定款の特定非営利活動の 17 分野の中で静岡県下唯一の中間支援組織です。
- 2、だからと言って特にその専門性に優れてはいませんが、常に他団体、行政、企業のあり方に疑問を持ち、客観的に思想性を持って哲学しています。
- 3、「しずおか NPO 協働連携会議」を 4 団体で立上げ、2 月 13 日に静岡市市長立候補予定者 3 氏と「NPO との協働を問う」シンポは午後 1 時から 5 時まで、NPO 関係者 100 人以上が意見交流をすることが出来、さらに静岡市市長立候補予定者 3 氏と「NPO と市長との直接、意見交換、交流が可能になり、その意見を市政に反映する」と言う協定書を締結しましたが、それを乱用する心算はありません。それよりも静岡市内の NPO 法人が腹藏なく、胸襟を開いて協働連携することが最大の課題だと思い、それを可能にできるコミュニケーションを研究、開発すべく努力しています。
- 4、シーズの松原さんとは平成 11 年以来の交流です。日本ファンドレイジング協会はシーズが生みの親です。それ故、日本ファンドレイジング協会は堀田力氏が理事長ですが鶴尾さんと徳永さんが非常に協力してくれています。

(様式3)

協働パイロット事業 (H23) 見積書

団体名：NPO 法人しずおか NPO 協働ネットワークセンター

企画のタイトル：「さあ、はじめよう！戦略的ファンドレイジング」

項目	金額 (円)	説明
講師A礼金	100,000	
講師B礼金	50,000	
ファシリテーターC日当	5,000	
ファシリテーターD日当	5,000	
ファシリテーターE日当	5,000	
交通費 (東京-静岡)	30,000	
レジュメ・告知印刷代等	15,000	
ワークショップ用紙、用具	5,000	
告知郵送代	21,600	静岡市内約 270NPO法人にこの事業を告知、理解と参加を呼びかける。
小計 A	236,600	
消費税 B = A × 0.05	11,830	
合計 A + B	248,430	

◎実費弁償契約の希望の有無 有

※ 参加費の徴収、物品の販売、提案団体の自己負担等、委託料以外の財源がある場合

収入見込み額	金額	主な用途
最低 30 人の参加を見込みテキスト 30 冊 × 1,500 円	45,000	参加者にテキストとして「ファンドレイジングが社会を変える」鵜尾雅隆著、三一書房出版を購入して頂く。

企画提案の概要書

提案団体名	NPO法人 しずおかNPO協働ネットワークセンター
企画案のタイトル	「さあ、はじめよう！戦略的ファンドレイジング」
提案の要旨 (企画提案書の概要を400字以内でご記入ください。)	<p>「戦略的ファンドレイジング（資金調達・資金開拓）」の根幹は、行政、企業、市民の皆様方にNPO、市民活動を理解して頂くようコミュニケーションを積み重ね、お互いが成長すると言う、対話による「新しい公共」の実現だと思えます。即ち、「戦略的ファンドレイジング」は、「日本には寄付文化がない」など諦めないで、NPO、市民活動の使命、目的、事業を理解して貰う事が、もし、お金が集まらなくても社会を変革する大切な方法です。</p> <p>本提案は「戦略的ファンドレイジング」の基本的考え、概念を体得することを目標にしています。</p>
金額	248,430 円

《注意事項》

ホームページでの公開資料です。以下のことに注意してください。

- ・ 丸数字などの特殊記号は使わないようにしてください。
- ・ 図やイラスト、写真、動画、スライド等は掲載できません。
- ・ html で表現できない複雑な表現方法はご利用できません。